

同時資料配布先:

2014年1月8日

経済産業記者会

学研都市記者クラブ

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

革新的 CO₂ 膜分離技術シンポジウム 〜 温暖化防止に貢献する膜分離技術の最新動向 〜 開催のご案内

当機構が組合員として加盟しております次世代型膜モジュール技術研究組合では、研究成果を広く関係の皆様にご紹介するため、以下の通り「革新的CO₂膜分離技術シンポジウム」を開催する運びとなりましたのでご案内します。

本シンポジウムでは、当組合が開発している二酸化炭素分離膜技術の最近の研究動向や 海外での開発状況全般について報告し、CO₂分離回収・貯留(CCS: Carbon dioxide Capture and Storage) に関心を持たれる方々に最新情報をご提供する予定です。

CCS にご関心をお持ちの皆様には、最新動向をお聞きいただける絶好の機会ですので、 是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 開催趣旨

二酸化炭素回収・貯留(CCS: Carbon dioxide Capture and Storage)は、温室効果ガスの大気中への排出削減効果が大きいこと等から、地球温暖化対策の重要な選択肢の一つと期待されている。そのなかで、次世代型膜モジュール技術研究組合は、今後効率的な石炭ガス化発電として期待されている IGCC 等で発生する圧力を有するガスから低コストで分離回収を行う革新的な二酸化炭素分離膜の開発(二酸化炭素分離膜モジュール研究開発事業)を経済産業省からの委託事業として進めている。

このシンポジウムでは当組合が開発している二酸化炭素分離膜技術の最近の研究動向や海外での開発状況全般について報告し、 CO_2 分離に関心を持つ方々に最新の情報を広く伝え、官民挙げての CO_2 削減に関する研究開発活動に理解を得る一助とする。

2. 開催概要

主 催:次世代型膜モジュール技術研究組合

共 催:経済産業省

後 援: Global CCS Institute、日本CCS調査株式会社、

公益社団法人新化学技術推進協会

協 賛:日本膜学会、公益社団法人化学工学会

日 時:2014年2月5日(水)13:00-17:00(受付開始12:30)

会 場:第一ホテル東京 5F「ラ・ローズ」 (東京都港区新橋 1-2-6)



言語:日本語

参加費:無料

プログラム(敬称略):

・基調講演「地球温暖化への対応」

(公財) 地球環境産業技術研究機構 理事長 茅 陽一

膜技術基調講演「膜分離技術の現状と将来展望」

広島大学 教授 都留 稔了

膜技術の海外調査報告

技術研究組合倉敷研究室

主 管 伊勢 智一

・「次世代型膜モジュール技術の進捗について」

技術研究組合

技術部長 甲斐 照彦

・特別講演「先端的低炭素化技術開発における膜および膜反応器について」

宇都宮大学

教 授 伊藤 直次

(詳細については別紙をご参照ください。)

3. 参加登録

事前申し込み制とします。参加お申し込みは、所属、住所、氏名、電話番号を記載のうえ、E-mail (mgmsympo@gmail.com) にてお願いいたします。

定員は160名で、先着順にお受けいたします。

4. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方は、事前にお申込み下さいますようお願いします。 やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

本件に関するお問合せ先・報道担当:

ワークショップの内容・参加登録に関するお問合せ先

次世代型膜モジュール技術研究組合 (RITE 化学研究グループ内) 池田、菰野、鹿嶋

TEL: 0774-75-2305 E-mail: mgmsympo@gmail.com

本プレス発表に関するお問い合わせ先

RITE 企画調査グループ 広報・産業連携チーム 鉄矢、辰巳

TEL: 0774-75-2301 E-mail: pub_rite@rite.or.jp

革新的 CO₂ 膜分離技術シンポジウム ~ 温暖化防止に貢献する膜分離技術の最新動向

次世代型膜モジュール技術研究組合

開催日時:平成26年2月5日(水)13時~17時

(受付開始12時30分)

会 場:第一ホテル東京 5F ラ・ローズ

定 員 : 160名 参加費 : 無料

主催: 次世代型膜モジュール技術研究組合

共催: 経済産業省

後援:日本CCS調査株式会社、Global CCS Institute、

(公社)新化学技術推進協会(JACI)

協 賛 : 日本膜学会、(公社)化学工学会

開催趣旨

二酸化炭素回収・貯留 (CCS: Carbon dioxide Capture and Storage) は、温室効果ガスの大気中への排出 削減効果が大きいこと等から、地球温暖化対策の重要な選択肢の一つと期待されている。そのなかで、次世代 型膜モジュール技術研究組合は、今後効率的な石炭ガス化発電として期待されている IGCC 等で発生する圧力 を有するガスから低コストで分離回収を行う革新的な二酸化炭素分離膜の開発 (二酸化炭素分離膜モジュール 研究開発事業) を経済産業省からの委託事業として進めている。

このシンポジウムでは当組合が開発している二酸化炭素分離膜技術の最近の研究動向や海外での開発状況 全般について報告し、CO₂分離に関心を持つ方々に最新の情報を広く伝え、官民挙げてのCO₂削減に関する研 究開発活動に理解を得る一助とする。

プログラム

13:00-13:05 開会

13:05-13:10 主催者挨拶 技術研究組合 理事長 時任 康雄

13:10-13:15 共催者挨拶 経済産業省地球環境連携・技術室 室 長 永澤 剛

13:15-13:55 基調講演「地球温暖化への対応」

(公財) 地球環境産業技術研究機構 理事長 茅陽一

13:55-14:35 膜技術基調講演「膜分離技術の現状と将来展望」(予定)

広島大学 教 授 都留 稔了

14:35-14:55 休憩

14:55-15:20 膜技術の海外調査報告 技術研究組合倉敷研究室 主 管 伊勢 智一

15:20-16;10 「次世代型膜モジュール技術の進捗について」技術研究組合技術部長 甲斐 照彦

16:10-16:50 特別講演「先端的低炭素化技術開発における膜および膜反応器について」

宇都宮大学教授、伊藤、直次

16:50-16:55 閉会挨拶 技術研究組合 専務理事 中尾 真一

16:55-17:00 閉会

*上記プログラム内容については、変更されることがあります。

*膜モジュール ポスター等も展示いたします。

○ 会場のご案内

第一ホテル東京 5F ラ・ローズ (〒105-8621 東京都港区新橋 1-2-6)

【アクセス】

- J R・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」より地下歩道にて直結、徒歩約2分 (新橋内幸町地下歩道D出口)
- ■ゆりかもめ「新橋駅」より徒歩約2分
- ■都営三田線「内幸町駅」より徒歩約3分
- ■都営大江戸線「汐留駅」より徒歩約10分



○ お問い合わせ先

次世代型膜モジュール技術研究組合京都研究室

TEL:0774-75-2305 FAX:0774-75-2318 ((公財)地球環境産業技術研究機構化学研究グループ 内)

E-mail: mgmsympo@gmail.com

参加お申し込みは、所属、住所、氏名、電話番号を記載のうえ、E-mail にてお願いいたします。 定員は 160 名で、先着順にお受けいたします。